

ついででございますが、平成16年4月1日現在、1年前になりませんが一般職に占める女性職員の割合につきましても、議員ご指摘のとおり424名中141名で、33.3%、管理職に占める女性職員の割合は77名中2名で、ご指摘のとおり2.6%となっております。

そこで、近隣3市における管理職に占める女性職員の状況を申し上げますと、西脇市が8名で12.1%、小野市が6名で8.2%、三木市は9名で6.7%、近隣市に比較しても低い値となっております。

市といたしましては、一気にはまいりませんが管理職登用を前提に女性職員の能力、あるいは適正を十分考慮しながら、課長補佐、係長など、役付職員への登用を順次図ってきています。役付職員に占める女性職員の割合は、課長補佐級で22.4%、係長級で35.4%となっております。

今後も引き続き、女性職員が意欲を持っていきいきと仕事に取り進むことがでさる職場環境の整備や、女

性職員の個性、あるいは能力が発揮できる分野への配置を行うなどの取り組みを進めながら、管理職の登用について考えていきます。

中学校クラブ活動

Q 先日新聞に、強いに中学にバレー部がないという記事が出た。理由として、先生の高齢化とか少子化による部員数の減少が載っているが、教師の高齢化が原因として挙げられることは理解に苦しむし、指導者としてその経験がなければいけないものなのか。

野球とかサッカーはリトルリーグとかユース等のクラブ組織があり受け入れ体制もあるが、バレーボールはそういうものが無いことを考慮されたのか。



どうしてもクラブ活動を廃止しなければいけないと、なっても、何らかの形で受け入れが必要ではないか。できれば市単独の中で継続してスポーツをやれるような状況をつくれぬか。

A 部活動の存続は大切であると十分認識している。富合小学校バレーが市内で7連覇なのに部活動廃止という記事は承知しています。このことは、特に加西中学校をはじめ、校長会でも伝えていきたいとは思いますが、これだけは残しておきたい部活動というのはそれぞれ学校によって実状が異なり、こちらで一概に言えない。ピュアな部は残してほしいという気持ちはあります

が、学校の実状に合わせざるを得ない。高齢になったから部活動の指導ができないのではなくて、年齢が高くなると学校運営全般について校務分掌が多くなり、部活動指導との兼務は大変であるということ。

また、各種目において経験のある指導者でなければ

ならないということは決してない。未経験者でも指導者の努力でカバーできると認識しています。しかし、中体連等の大会で帯同審判をしなければならぬ種目もあり、専門的な力量を要請されます。

部活動は学校の主体性に任されており、また、現在学校外でのクラブチームに参加している者は何名か市内でもいます。その生徒については配慮し、部活動に参加しているものとして対応しています。

生涯体育の観点から、小、中、高、あるいは社会と一貫して子どもたちがやりたい運動を生涯を通してできる体制を組むことは、スポーツクラブ21の関係から非常に大切であると認識しているの今後十分検討していきます。

病院の相談室

Q 埼玉県の病院が相談室をつくり、そこが窓口となって医師や看護師の対応が親切丁寧になり、病院の人气が上がって

きた。また、手術室が窓越しに見えたりビデオを録っている病院も評判がよいと聞く。加西病院の取り組みはどうか。

A 患者様ご家族の相談が多いのは、退院後のケアと受け入れ施設の斡旋です。治療及び手術に対する問い合わせ、医療費の支払いに関する相談もあります。これらは地域医療室が「患者様ご家族相談窓口」として行っています。医療に対する疑問、不満も現在地域医療室で対応していますが、医療に対する疑問に対応する専従職員はいません。今後専門の窓口をつくる必要性は十分承知していますが、現状では経済的、人員の困難だと思えます。

手術室の見学の設置ですが、構造上、改築するまでは無理だと思えます。ビデオの設置は、医師からも申し出があり、17年度での対応を予定しています。

タウンミーティング

Q 地区担当職員制度とタウンミーティングは、従来市政懇談会という形で、幹部職員全部出て、それぞれ各校区単位でお話を聞いたりしてきたが、何か情性に流されて同じような顔ぶればかりの会合だという反省から、タウンミーティングというもの

が生まれ出てきた。我々はどこでも出かける。市民の皆さんの生の声を聞き、情報が相まって、それが市政に反映されることが一番大切。

A タウンミーティングは、従来市政懇談会という形で、幹部職員全部出て、それぞれ各校区単位でお話を聞いたりしてきたが、何か情性に流されて同じような顔ぶればかりの会合だという反省から、タウンミーティングという

ものが生まれ出てきた。我々はどこでも出かける。市民の皆さんの生の声を聞き、情報が相まって、それが市政に反映されることが一番大切。私も、ある校区の代表の方にお願いに行ったときに、市長が来ると本音が言